

オリジナルTシャツ通信

- 第5号 -

プレスリリースを活用して 自社商品・サービスを告知

シーズンのスタートで自社の商品・サービスを告知する手法として、プレスリリースを利用している業者をチェックしてみました。その効果とは？

「増税でも価格を値下げ」

tmix(ティームックス)

「tmix(ティームックス)」を運営する株式会社ice life(東京都渋谷区)は、消費税増税を逆手に取った料金値下げのリリースを4/2におこないました。同社は月間平均5〜7件程度プレスリリースをおこなっており、そのほとんどが新規に取扱いを開始した商品の紹介です。

プレスリリースにはネットリリース配信サイト「DreamNews(ドリームニュース)」を利用しています。ドリームニュースは30日間1万円、1年間10万円の定額制で、2プランのどちらかを選ぶと対象期間中は何度でもリリースができるというサービスです。このようなサービスを提供している会社は数社ありますが、上手く活用することで広く告知が可能な反面、話題性のないリリースの乱



ネット上で公開されるプレスリリース

発などをおこなうと企業のサービスや商品イメージが多岐にわたる情報に埋もれてしまふ恐れがあります。リリース内容、リリース時期を十分に検討する必要があります。またオリジナルプリント.jpを運営する株式会社・マジック(東京都千代田区)も同様に、新商品告知にニュースサイト「財経

「日本でも人気」

近頃は中国製やバンングラディッシュ製などのいわゆる「海外メイド」が主流になっているカットソーですが、当社では以前から取り組んでいた国内生産が徐々に増加傾向にあります。残念ながら、まだまだ利益を生むほどではないのですが、価格以外でアピールできる商品企画をテーマに、縫製工場や生地屋、

オリTよろずごと

- 1 染工場と話し合いを重ね、消費者ニーズを模索しながらコンパクトなモノづくりをつづけています。特に昇華プリントや生地などの切り替えなど、小ロット生産ではあります。流通を仲介しない消費者向けの商品については、価格面でも何とか折り合いがつく目処が立って
- 2 きました。縫製工場自体、労働人口の激減や超高齢化など諸問題を抱えているものの、特定の条件下であれば、国内の縫製工場にも十分に力を発揮してもらおうことができます。国内のニッターとプリンターが互いに踏み込んだ協力体制を構築できれば、さらにもっと新しい市場が生まれてくる可能性があります。
- 3 ました。藤井裕之

発行日
2014年4月21日

発行人
一般社団法人
日本オリジナル
Tシャツ協会
03-5421-2171
jimukyoku@jota.or.jp

新聞」を活用しています。このようにプレスリリースを活用した商品・サービスの告知をおこなう背景には、集客につながるマーケティングの要素があると考えられます。

リリース記事の拡散と 検索結果上位表示

プレスリリース配信サ

ビスの最大の利点はサービス提供会社が発信元の企業に代わってネット上に限らず多くのメディアに発信するところにあります。発信されたプレスリリースはネット上のニュースサイトで記事となり公開されます。その記事がさらに一般消費者のブログやSNSサイトに投稿されることで、様々な場所に情報が拡散します。またリリース記事に記載したホームページURLにアクセスすることでサイトの価値が上がり、検索結果上位表示に貢献します。



2013年5月日本上陸した同サイトは順調にユーザーを伸ばしている

「Snaptee」アプリが好調

Snaptee Limited (香港)

誰でもTシャツデザイナーになれる、iPhoneとAndroidアプリ「Snaptee」が話題を呼んでいる。昨年8月の日本市場オープンから9月ほどだが、現在世界45カ国で13万人以上といわれているなかで、アメリカ、イ

ツとならび日本がユーザーの中心となっている。スマートフォンにアプリをインストールして、撮影した写真やイラストをTシャツにデザインして送信。約20USDの商品代金と5USDの送料で自分だけのオリジナル100%オーガニックコットンTシャツが届くというシステム。インクジェット機を使ったオンデマンドプリントのグローバルな利用法は、現在も進化し続けている。今後業界にどのような影響をもたらすのか、注目したい。

作成したTシャツは 販売することが可能

自分で作成したTシャツはSnapteeサイト上で販売ができる。販売者はTシャツが購入されるたびに売上の10%が利益として還元され、100USDに達した時点でPayPalを通じて送金が行われるという仕組みだ。自分が好きなTシャツをつくって

さらに販売までできるというこのシステムに、プロ・アマを問わずユーザーが増えるというユーザーも少なくないようだ。また今年3月末に、新たな展開としてユーザーが撮影した写真を漫画風に変換する日本で人気のアプリ「漫画カメラ」とのコラボレーションを発表した。漫画カメラのアプリ上でSnapteeのオーダーができるシステムで、市場の拡大を目指している。今後もTシャツづくりをコミュニティにしたいという運営会社が展開する施策に注目する必要があるようだ。



漫画カメラアプリで作成したオリジナルTシャツ

Tシャツ広場

クラスTシャツ
カタログ完成
(オリジナル)

オリジナルフィニティ(株)オリジナル・大阪のクラスTシャツカタログを発表しました。シュールな猫(う)がインパクト大です。そして何よりもJOTTAのロゴマークを付けていただいたのがうれしいです。各会員社もカタログはチラシ、ホームページなどで協会マークを積極的に使っていただきたいです。カタログはホームページから請求できます。

第3回理事会を 4月24日に開催

4月24日に東京で第3回JOTTA理事会を開催します。2月の総会で議論された内容について、理事会で十分に話し合い運営を進めていきますので、ご意見・ご要望などございましたら事務局までご連絡願います。

◆編集後記◆

※「Tシャツ広場」では会員の皆様様が営業上の問題点や成功事例、ご意見・ご要望などを紹介していただきます。掲載をご希望の方は事務局までメール・電話・FAXにてご連絡ください。

谷本会長インタビュー 取材がありました

先月(株)ラブ・ラボ(香川・高松)にてOGBSマガジン(株)ゲンダイ出版(株)の谷本会長インタビュー取材

親子オリジナル Tシャツ教室

開催協力会員社募集中!

まだまだ多くのご協力が必要です。ぜひ皆様のお力をお貸しください。(事務局までご連絡ください。)

4月、クラスTシャツや部活Tシャツの需要期となり、各社多忙な日々を過ごされているかと思えます。この時期協会事務局は忙しいなか理事が集まって開催する理事会進行をお手伝いしたり、今期および来期の活動について会員各社からのご提案をまとめて企画案を作成したりしています。これから本格的にシーズンに入りますが、各社の活動報告やご提案事項がありましたら、毎度毎度のお報願います。(編集・協会事務局)